

研究計画書

ゼミ名	鎭谷ゼミ	チー ム 名	The Y
タイトル	「ESG が企業価値の持続性に与える影響」—柳モデルによる PBR の回帰分析—		
テーマ群	a) 理論・情報、b) 財政・金融、e) 産業・企業、g) その他		
メンバー	安東ひなた、夏原理緒		
研究計画内容	【研究背景】 ■ 近年、企業は ESG（環境・社会・ガバナンス）に取り組むことで、将来的な利益水準の向上や利益の安定化を期待している。しかしながら、経営者による ESG への関心や期待は確認されているものの、ESG が企業価値に与える定量的影響については、依然として確証が得られていないのが現状である。 ■ そのような中、ESG が株価純資産倍率（PBR）に与える影響を分析する手法として、企業価値の持続性を評価する静学モデルである「柳モデル」が存在する。本モデルを用いることで ESG 指標が PBR に及ぼす遅延的浸透効果を検証することが可能である。 【研究内容】 ■ 従来の柳モデルにはいくつかの理論的・計量的問題点が指摘されており、既存の枠組みのまま推計を行った場合、実際の ESG 評価をモデルに直接反映させることは難しく、その結果、ESG による経済価値形成を十分に表現することが困難である。 ■ したがって本研究では、従来の柳モデルを拡張的に再構築し、ESG が企業価値に及ぼす効果をより厳密に測定することを目的とする。さらに、PBR が 1.0 倍を超える日系上場企業のデータを用いて、拡張型柳モデルによる実証分析を行う。 【期待される効果】 ■ 従来モデルの問題を克服する新たな分析枠組みの提示を通して、ESG と企業価値の関係をより精緻に捉えられることが期待される。 【参考文献】 ※参考文献が多数に及ぶため、本稿では特に関連性の高い主要文献のみを抜粋して掲載する。 ■ 佐々木・花枝（2021）「日本企業の ESG に対する意識調査」 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/21j004.pdf?utm_source=chatgpt.com ■ 下田 卓治（n. d.）「社会活動が企業価値に与える影響の研究」 https://www.jstage.jst.go.jp/article/investorrelations/15/1/15_19/_pdf/-char/ja ■ Zhang T , Zhang J , Tu S（2024）「An Empirical Study on Corporate ESG Behavior and Employee Satisfaction: A Moderating Mediation Model」 https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11047324/?utm_source=chatgpt.com ■ Brian Tayan（2022）「ESG Ratings: A Compass without Direction」 https://corpgov.law.harvard.edu/2022/08/24/esg-ratings-a-compass-without-direction/?utm_source=chatgpt.com ■ 柳・今野（2024）「柳モデルとインパクト会計の最新事例」 https://www.camri.or.jp/files/libs/2130/202412101139418792.pdf		